

地域課題の解決に向けて効果的な少子化対策事業

1 考え方

本県の少子化対策、子育て支援の方向性をまとめた「第2期ふじさんっこ応援プラン」や合計特殊出生率と人口の社会増減との関係性を分析し、市町が少子化対策を行う上での資料として作成した「ふじのくに少子化突破戦略の新・羅針盤」に基づき、地域課題の解決に向け、重要で効果的な事例を以下のとおり選定した。

○第2期ふじさんっこ応援プランの基本目標

- ・第1 結婚や出産の希望がかなえられる社会の実現
- ・第2 安心して子どもを育てることのできる社会の実現
- ・第3 すべての子どもが大切にされる社会の実現

○「ふじのくに少子化突破戦略の新・羅針盤」の分析結果と少子化対策に必要な5つの地域力

- ・合計特殊出生率の地域差の大部分は、有配偶率(配偶者がいる女性の割合)の差による。
- ・若者の転入が多い市町ほど、合計特殊出生率が高い傾向にある。

2 選定方針（施策の方向性）

- (1) 結婚や出産の希望がかなえられる社会の実現に向けて、企業や学校と連携し、結婚や出産について考える機会を提供するとともに、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制を構築する。
- (2) 安心して子どもを育てることのできる社会の実現に向けて、男性の家事・育児参画の促進により男女共に仕事と子育てを両立できる環境を整備する。
- (3) また、子育ての負担や不安を軽減し、希望する子どもの数を持つことができる環境を整備する。
 - ・ICT等を活用し、保育士の業務負担を軽減して保育人材を確保する。
 - ・産前・産後サポート事業などの家事・育児支援に利用手続のデジタル活用を進める等、利便性を一層向上させる。
- (4) すべての子どもが大切にされる社会の実現に向けて、医療的ケア児等が必要な支援を受けられる体制を構築する。
- (5) 若者の結婚の希望がかなえられるよう、出会いの機会・場の提供やライフプランニング支援等の結婚に向けた支援を実施するとともに、若者や子育て世代を対象にした、静岡県への呼び込み施策を促進する。

2 展開事業を活用して市町が実施する事業のうち、地域課題の解決に向けて重要で効果的な事例

区分	実施市町・事業名	事業内容	選定理由
選定方針(1)	(島田市) 島田市版ネウボラ推進事業	担当保健師による妊娠期から就学期までの継続した支援（相談等）の実施	担当保健師制を導入し、妊娠期から就学前まで継続して子育て家庭を支援することにより、子育てに関する不安を解消するとともに、必要な支援につなげることが出来るため。 （事業効果を高めるための助言等） 地域の子育て支援団体等と連携した支援も検討。
	(藤枝市) 未来のパパママ応援事業	中学3年生を対象とした思春期講座及び助産師による妊婦体験講座の開催	若者に結婚や出産について考える機会を提供することで、未来の子育て世代を育成する。 （事業効果を高めるための助言等）
	(牧之原市) 未来のパパママ子育て体験学習 -思春期へのライフデザイン講座-	中学3年生を対象に、結婚や出産の適齢期を知れるよう、ライフデザインの要素を取り入れた講座を開催	中学生だけでなく、高校生や社会人を対象にした講座の開催も検討。
選定方針(2)	(長泉町) パパル日曜日	父親を対象に、乳幼児との関わり方やライフプランについて学ぶ講座を開催	父親が興味を持ちそうなライフプランについて学ぶ講座を取り入れながら、父親の家事・育児の参画を促進することにより、母親に偏った負担を軽減し、第2子以降の出産につなげることが期待できるため。 （事業効果を高めるための助言等） 産前から家事・育児の分担について考える機会を提供することも検討。

区分	実施市町・事業名	事業内容	選定理由
選定方針(3)	(三島市) スマート保育園整備事業	市立保育園の園児の登園管理等を ICT 化することによる保育園事務の効率化	<p>保育士の業務負担を軽減し、保育人材の確保につなげることは、希望する子どもを持つ環境を整備する上で重要であるため。</p> <p>(事業効果を高めるための助言等)</p> <p>公立だけでなく、園数が多い私立の保育所等においても、保育士の負担軽減が必要。</p> <p>妊産婦・育児世帯の負担や不安を軽減する上で重要な事業であるため。</p> <p>(事業効果を高めるための助言等)</p> <p>家事・育児支援の利用を促進する上で、利用時に電子申請を可能にするなど、使い勝手の良い仕組みへの工夫も検討。</p> <p>デジタル技術を活用し、スマートフォン等で保健師への相談予約などの手続きができるため。</p>
	(裾野市) 市立保育園事務 ICT 化事業	事務の効率化を図るために市立保育園の園児の登園管理等を ICT 化	
	(沼津市) 産前産後サポート事業(訪問型家事支援)	ヘルパー派遣による家事支援	
	(袋井市) 産後ママ安心サポート事業	妊産婦を対象に、育児や家事をサポートするための利用料を補助	
	(伊豆市) 働くお母さんのパワー応援事業	就労意欲のある母親を支援するために、ヘルパーや助産師による家事・育児支援を実施するとともに、市立こども園の受入れ年齢を低年齢化(生後8か月～)し保育の受け皿を拡充	
	(島田市) 子育て支援プラットフォーム等構築事業	予防接種や健診等の通知や申請、保健師への相談予約などをウェブ上で行うことができる子育て支援プラットフォームを構築・運用	
選定方針(4)	(島田市) 島田市版ネウボラ推進事業	(再掲)	<p>選定方針(1)に記載のとおり</p> <p>(事業効果を高めるための助言等)</p> <p>医療的ケア児等支援者の養成・活動支援の促進も検討。</p>
選定方針(5)	(沼津市) ぬまづ暮らし住み替え促進事業	<p>移住希望者への支援として、以下の取組を実施</p> <p>①首都圏在住者向けの移住イベントの開催</p> <p>②市内無料タクシー案内</p> <p>③子育て世代向けのテレワーク移住支援補助金の交付</p> <p>④オンライン移住相談の実施</p> <p>⑤空き家データベースと空き家バンクの連携</p>	<p>補助金の交付だけでなく、複数の移住支援を組み合わせることで、子育て世代のニーズにきめ細かく対応し、効果的な移住促進等となっている。</p>